

寄贈図書リスト

- 1 なるほど現代宇宙論, 二間瀬敏史 著, A5判,
184ページ, 2,200円+税, 日本評論社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は、翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は、e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

JAMSTEC Young Research Fellow 2027

JAMSTEC Young Research Fellow 2027公募を開始いたしました。自然科学・工学分野の博士号取得5年以内の若手研究者を募集する制度です。JAMSTECの研究開発環境を活用することで、自身の研究課題をより卓越した業績へと発展させ、国際的に活躍する自立した研究者として飛躍することが期待されます。

■募集人員：約5名

■勤務地：国立研究開発法人海洋研究開発機構 以下の研究拠点のいずれか

- ・横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
- ・横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
- ・むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
- ・高知コア研究所 高知県南国市物部乙200（高知大学物部キャンパス内）

■専門分野：自然科学・工学全般

■応募締切：2026年8月31日(月)

■問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構

人事部人事任用課 採用担当 jyrf2027@jamstec.go.jp
詳細はウェブサイトより募集要項をご確認ください。
<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/jyrf/>

変動海洋エコシステム高等研究所

AIMEC 研究もしくは AIMEC ポストドクトラル 研究員

東北大学及び海洋研究開発機構（以下JAMSTEC）によるアライアンス型WPI拠点である変動海洋エコ

システム高等研究所（WPI-AIMEC）では、分野融合研究や国際共同研究を通じて「海洋生態系変動メカニズムの解明と予測」を実現し、持続可能な海洋・地球環境と人間社会の実現に向けた惑星スチュワードシップへの貢献を目指しています。

着任初年度に研究スタートアップ経費として AIMEC 研究員は300万円、AIMEC ポストドクトラル研究員は200万円が支給されます。（次年度以降の支給はありません。）

■募集人員：6～7名

■勤務地：下記のいずれか

①東北大学青葉山キャンパス 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

②JAMSTEC横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25

■専門分野：自然科学・工学全般

■応募締切：2026年9月6日(日)

■問合せ先：変動海洋エコシステム高等研究所（WPI-AIMEC）

研究推進企画部 採用担当 wpi-aimec_hr@jamstec.go.jp
詳細はウェブサイトより募集要項をご確認ください。
<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/wpi20260906/>

賞の推薦

お茶の水女子大学賞：

第14回湯浅年子賞募集要項

設立趣旨

湯浅年子賞は、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）が日仏共同事業として運営する Toshiko Yuasa Laboratory（TYL）の協力を得て、

湯浅年子博士の自然科学及びその関連分野への功績を記念して設立した賞で、お茶の水女子大学賞の1つとして位置づけられている。

目的

湯浅年子賞は、本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、フランスにおいては長年にわたって優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。

賞の種別

- (1) 金賞 物理学とその関連領域分野における業績が著しく顕著であり、国内あるいは国外において、既に高い評価が確立している女性を顕彰する。
- (2) 銀賞 物理学とその関連領域分野における業績が特に顕著であり、近い将来当該分野において、国際的に活躍する女性になると認められる者を顕彰する。

人数

各賞1名

受賞対象者

次の(1)、(2)両方を満たす者。

- (1) 物理学とその関連領域分野において顕著な研究業績を挙げた者。また、物理学とその関連領域分野の社会的普及活動あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において、顕著な業績を挙げた者も受賞対象者とする。
- (2) 日本国籍を有する者または日本において高等教育を受けた者。

授与

受賞者には、賞状並びに副賞のメダル及び10万円を授与する。(メダルは大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が日仏共同事業として運営するToshiko Yuasa Laboratoryより授与される。銀賞受賞者は、Toshiko Yuasa Laboratoryによりフランスに招聘される。) 授賞式は2027年2月9日(火) 予定。

審査方法

書類審査(書類審査合格者に対して面接審査を行う場合がある。)

応募方法

他薦に限る。以下の書類(形式自由)を、推薦者より提出する。

- (1) 推薦書: 被推薦者の業績タイトル、推薦理由、賞の種別(金賞、銀賞)、推薦者の住所、氏名[フリガナ]及びメールアドレスを記載すること。

- (2) 被推薦者の履歴書(写真貼付)

- (3) 被推薦者の業績一覧(論文(審査の有無別)、著書、招待講演、学会発表、その他に分類すること)主たる業績3点以内に○印を付けること。

- (4) 被推薦者の主たる業績を表す資料3点以内

(1)～(4)のPDFファイルを下記のメールアドレスに送ること。

なお、PDFファイルにしがたい資料は郵送による提出も可能。

提出締切

2026年9月4日(金) 17時必着

その他

- (1) 応募書類の提出後、その記載事項を変更することや補充することは認められません。提出された応募書類の内容が事実と異なる場合、当該応募は無効となります。
- (2) 提出された応募書類は返却しません。
- (3) 応募時に提供された個人情報は、本賞の審査、結果通知および表彰に関する手続の目的にのみ使用し、その他の目的には使用しません。
- (4) お茶の水女子大学は、面接審査のための旅費は負担しません。
- (5) 応募書類に虚偽が発見された場合は、授賞後であっても授賞を取消すことがあります。
- (6) 応募書類を受領後に確認メールを送付するので、メール送信後3日以上(土日祝、夏季一斉休業期間である8月10日～17日を除く)受領確認のメールが届かない場合には、お問い合わせください。

本件に関する問い合わせ・提出先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

国立大学法人お茶の水女子大学 広報・ダイバーシティ推進課 ダイバーシティ推進担当

E-mail: Ocha-Prize@cc.ocha.ac.jp

電話: 03-5978-5336

第67回(令和8年度)東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者募集

東レ科学技術賞

<対象>

日本天文学会に関連する分野で、下記に該当する方。年齢は問いません。

- (1) 学術上の業績が顕著な方
- (2) 学術上重要な発見をした方
- (3) 効果が大きい重要な発明をした方
- (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方

〈授与品等および採択数〉

賞状及び金メダル、賞金500万円。2件以内。

〈その他〉

今回推薦を受けた候補者は、次年度も選考の対象となります。

令和7年度に推薦された候補者については、令和8年度候補者として再度推薦の必要はありません。

ただし、令和7年度の推薦以降において、追加すべき顕著な業績または発表や受賞があり加筆が望ましい場合は、再提出いただいても結構です。

東レ科学技術研究助成

〈対象〉

日本天文学会に関連する分野で、国内の研究機関において、自らのアイディアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者。

原則として推薦時45歳以下もしくは博士取得後10年以内。

本助成が重要かつ中心的な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

申請の基となった研究が海外で行われていても差支えありません。

〈助成金額及び採択数〉

総額1億3千万円。1件3千万円程度まで、計10件程度。

表彰および助成共通

〈推薦要項〉

推薦要綱および推薦書の書式は下記サイトをご覧ください。

<https://www.toray-sf.or.jp/>

〈学会推薦応募締切〉

2026年9月16日(水) (学会必着)

〈提出先〉

推薦書および主要文献(科学技術賞: 2~3件, 研究助成: 5件以内)のPDFファイル一式をメール添付またはダウンロード情報を〈jimucho@asj.or.jp〉へ送付。
※推薦書のファイル名は、「賞【日本天文学会】候補者氏名.pdf」または「助成【日本天文学会】候補者氏名.pdf」としてください。

※主要文献はそれぞれPDFファイルを作成のうえ、ファイル名は「論文リスト番号_雑誌等の名称+発行年.pdf」(例: 論文7_Nature2025.pdf)としてください

※審査・推薦決定後、必要によりWORD版推薦書を提出していただく場合がありますので、上記PDF提出後もWORD版推薦書をお手元に保管しておいてください。

〈問い合わせ先〉

賞・助成について:

(公財)東レ科学振興会 (<https://www.toray-sf.or.jp/>)

学会推薦関係:

学会事務所 (担当: 事務長/jimucho@asj.or.jp)

令和8年度『東レ理科教育賞』および『東レ理科教育賞・企画賞』募集

“東レ理科教育賞”は、中学・高校の理科教育に携わる先生方を表彰する特色ある事業です。応募要領をご覧くださいのうえ、どうぞ奮ってご応募ください。

【東レ理科教育賞】

対象: 中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた教育事例(教育の現場で実績のあるもの)。

褒賞:

- (1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞(東レ理科教育賞の中で特に優れているもの)賞状、銀メダルおよび副賞賞金100万円、
- (2) 東レ理科教育賞 賞状、銀メダルおよび副賞賞金70万円、
- (3) 東レ理科教育賞佳作(東レ理科教育賞に次ぐもの)賞状および副賞賞金20万円、
- (4) 東レ理科教育賞奨励作(東レ理科教育賞および佳作とは別に、理科教育上広く普及を奨励するもの)賞状および副賞賞金20万円、を合せて10件程度選定。

応募手続: 9月29日(火)正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙(申請書)に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日: 2026年9月30日(水) 必着。

応募要領URL: www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html

【東レ理科教育賞・企画賞】

対象: 中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた企画・開発。

褒賞: 賞状および副賞賞金10~20万円(10件程度選定)。

応募手続: 9月9日(水)正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙(申請書)に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専

用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日：2026年9月10日(木) 必着。

応募要領URL: www.toray-sf.or.jp/awards/education/application_plan.html

【両賞共通】

応募資格：中学校・高等学校の理科教育を担当、指導、または研究する方。応募要領参照（6月下旬に昨年度の受賞作品集とともに全国の中学校、高等学校、高等専門学校の学校長経由理科担当教諭宛などに送付。ウェブサイトにも掲載）。応募用紙はウェブサイトからダウンロードしてください。

【お問合せ】公益財団法人東レ科学振興会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16

Tel: 03-6262-1656 Fax: 03-6262-1901

会 務 案 内

入会・移籍・退会のお知らせ

2026年5月25日に開催された公益社団法人 日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：31名 準会員：11名

退会 正会員：213名 準会員：55名

賛助会員：2団体

移籍 準→正：1名 正→準：2名

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報では、次の一年間の表紙デザインを常時募集しております。毎年8月31日に締め切り、一年間で集まった作品を対象に、翌年の表紙デザインを選考します。詳しくは下記募集要項をご確認ください。応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けておりますので、多くの方からの応募をお待ちしております。

〈募集概要〉

- ・採用作品掲載期間は毎年1月号（12/20発行）～12号（11/20発行）の12ヶ月（12回分）です。
- ・表紙は題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像（毎月変更）および背景イラストで構成されます。すべ

ての配置を含めたデザインをお願いいたします。

- ・毎号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は過去の天文月報をご覧ください。

天文月報のホームページのバックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber>

■募集要項・天文月報投稿用アップローダーに、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式不問
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）
- ・締切り：2026年8月31日
- ・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダー

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/

ログインにはユーザ名およびパスワードが必要です。ご利用を希望される方は、ホームページの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限りします。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する際は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。
- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（24万円/1年分（税込み・毎月払い））
- ・問い合わせ先
問い合わせフォーム：
<https://www.asj.or.jp/jp/contact/>
eメール: geppou@asj.or.jp
表紙デザイン募集サイト
<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/design/>

天文月報119巻9月号 主な掲載予定記事

特集：公開天文台100周年（1）：日本公開天文台協会による公開天文台100周年記念事業【宮本敦・澤田幸輝・米澤樹】公開天文台白書から見た公開天文台の現状【米澤樹・澤田幸輝】

EUREKA: 地球磁気圏からのX線放射の観測とモデル化—磁気圏グローバル撮像に向けて【伊師大貴】

天球儀：星のソムリエ資格認定制度カリキュラムの構造【柴田晋平・星のソムリエ制度運営グループ】〈2025年度日本天文学会 天文功労賞（長期）〉彗星の光度観測コーディネーター業を振り返って【中村彰正】

編集委員：日下部展彦（編集長）、岡本文典、小山翔子、志達めぐみ、鈴木大介、高橋葵、田中壱、谷川衡、鳥海森、中島亜紗美、信川久実子、橋本拓也、福島肇、藤澤幸太郎、宮武広直、宮本祐介、守屋堯

令和8年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487

振込口座：郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店（普）4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2026年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）